
相談所 死期徒屋

福音 振

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

相談所 死期徒屋

【Nコード】

N7668Z

【作者名】

福音 振

【あらすじ】

妖怪、悪魔、鬼、天使、墮天使、人間。

ありとあらゆる存在の問題を解決する場所があった。

その名を、死期徒屋と言う

プロローグ（前書き）

なんとなく、天冥をややベースとして書いてみました。

二本目の、一次小説です。どうぞ……

プロローグ

「うづつ…ん…どうしよう…」

うづつと首を傾げつつ、ある建物を前を行ったり来たりと繰り返している茶髪で長い髪の女性がいた。服は白いコートに黒いスカートをはいている。

女性の名は、” 櫻木 楓 ”

「あ…どうしようどうしよう…あったことはあったけど…本当なの、かな？」

その建物の前に立ち止まるがまた踏みとどまる。

余談ではあるが、この悠長さで「わちゃわちゃした奴だなあ」や「桜なのになんで楓なんだよ」等と、からかわれた時期があった。

「ほんとに解決してくれる、のかなあ……」

はあ…と溜め息混じりで呟いた楓。

実は楓は、” ある ” 悩み事があつて、この建物へと出向いていたのだ。楓は、その建物の内容が簡単に記された皺の入ったらチラシを見る。

『相談所 死期徒屋』

(うづつ…改めて見ると怖い名前だなあ…でも内容的には何でも屋みただけだ。)

相談所 死期徒屋と書かれたチラシの中身は何でも屋と同じような内容が書かれていたが、一つ気掛かりな部分があった。

(でも……………行ってみよう。)

それは楓が悩みの原因の一つであろうものを解決する為の理由であった。

チラシにはこう書いてあった。

『霊的な事でも解決します』

楓は、白いコートのポケットにチラシを入れ、前へと踏み出した。

プロローグ（後書き）

櫻木 楓……佐藤聡美

てな感じですよ。

感想待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7668z/>

相談所 死期徒屋

2011年12月25日00時45分発行